

みなさんの田んぼは大丈夫??

ジャンボタニシはみんなで撃退!

ジャンボタニシ（和名：スクミリンゴガイ）は南米原産の淡水性巻貝です。食用として輸入されたジャンボタニシが野生化し、水田へと侵入して若い稲に食害をもたらしています。町内においても、大きな被害が発生している地域があります。

町ではジャンボタニシ協議会を組織し、被害の軽減対策に取り組んでいます。

！ジャンボタニシ被害の軽減対策！

【通年】貝や卵塊の駆除

貝は見つけ次第、駆除しましょう。貝は寄生虫を持っている場合があります。卵には毒性があるため、素手で触らないようにしましょう。ピンクの卵塊は、水中に払い落とすかつぶしましょう。産卵直後の卵は水に落とすと孵化できなくなります。



【取水期間】水田への侵入防止

取水口に5mm以下の網目のネットや金網を設置し、用水からの貝の侵入を防ぎます。特に用水からの侵入が多い時期にネットや金網を設置することで、多数の貝の侵入を防ぐことができます。

【移植後2～3週間】浅水管理で食害を防止

ジャンボタニシは水深4cm以下では活動ができなくなり、食害が減ります。

【10月～3月】越冬場所の管理

ほ場の土中、用水路等で越冬し、水が残っているところでは越冬率が上がります。用水路の泥上げ、餌となる雑草の除去、水田の落水、用水マスの貝の除去を行うと効果的です。

【1月～2月】耕うん

ジャンボタニシは土の中で越冬します。そのため、冬の間ロータリーを高回転にして浅く耕うんすることにより、殻を破碎したり、寒さにさらし、貝を駆除しましょう。



▶ 問合せ まちづくり課産業係 ☎ 2114

令和元年台風第15号等により住家被害を受けられた方へ

令和元年台風第15号、19号及び10月25日の大雨により住家被害を受けられた方へ行っていた「住宅の修繕支援制度」の受付が終了します。（工事完了は、7月31日以降でも可）

それに伴い、り災証明書の発行も終了致しますので、まだご相談でない方は、下記の期限までに必ず窓口までご連絡ください。

- ▶ 申請期限 令和2年7月31日(金)
- ▶ 申請場所 り災証明書 【町民課税務係 ☎ 2112】
- 住宅の修繕支援制度 【まちづくり課建設係 ☎ 2114】

